



と かん しょ かん たん たい

図書館 探偵団



監修・野口武悟
専修大学教授



みなさんにとって、図書館はどのようなところですか。「いろいろな本に出会えるところ」「集中して調べものや勉強ができるところ」「おはなし会などのイベントに参加するところ」「家族でくつろぎに行くところ」など、さまざまな答えがあると思います。答えの数だけ、図書館はたくさんの役割を持っている魅力的なところということもできます。

ところで、図書館というとき、思い浮かべる図書館は人によって違いがあるはずですが、自分が通っている学校にある図書館・図書室（これを学校図書館といいます）を思い浮かべる人もいれば、自分の家の近くにある地域の図書館（これを公共図書館といいます）を思い浮かべる人もいます。あるいは、自分の手元にある情報端末（タブレットやパソコン）で電子書籍などが利用できる電子図書館を思い浮かべた人もいるかもしれません。

人によって思い浮かべる図書館が違うということは、図書館にはいくつかの種類があるということです。では、どんな種類があるのでしょうか。そもそも、図書館は、いつから存在しているのでしょうか。考え始めると、みなさんも、図書館についてのいろいろな疑問や知りたいことが出てきませんか。「図書館が扱うのは本だけなのかな?」「図書館の本はなぜ分類されているの?」「どんな図書館でも必ず静かに使わないといけないの?」「家の近くに図書館がない人はどうすればいいの?」「目の不自由な人はどうやって本を読むの?」などなど。

みなさんの図書館についての疑問や知りたいことを一緒に調べてくれる心強い仲間たちが図書館探偵団。さあ、図書館探偵団の仲間と一緒に図書館のいろいろなことを調べに行きましょう!

専修大学文学部教授
公益社団法人全国学校図書館協議会理事長

野口武悟



- 2 はじめに
- 4 図書館ってなあに?
- 6 学校図書館をのぞいてみよう
- 8 はじめての公共図書館
本をさがしにいこう
- 22 **コラム** 図書館の歴史
- 24 **地域**とつながる図書館
活動をのぞいてみよう
- 32 図書館の中・外・となりで
発見! あんな場所、こんなもの
- 38 知っておこう 読書バリアフリーのこと
- 45 **コラム** オーテピア高知声と点字の図書館
- 46 いってみたい、いってみよう
専門的な図書館
- 55 **コラム** ミュンヘン国際児童図書館
文 中野怜奈
- 56 デジタルと図書館
- 59 **コラム** 国立国会図書館デジタルコレクション
- 60 **コラム** 図書館が出てくる本 選・文 福本友美子
- 63 さくいん



地域とつながる図書館 活動をのぞいてみよう

図書館の大事な役わりの1つは、地域の人々とつながること。
積極的につながりをつくる活動をしている図書館を調査。



島がまるごと図書館に

海士町中央図書館 < 島根県

スタートは 図書館のない島

海士町は、島根県の隠岐諸島の中ノ島が中心となっている町です。図書館のなかった海士町では2007年に「島まるごと図書館構想」という計画がはじまりました。最初に小中高の4つの学校や公共の場所、子育てスペース、宿泊施設などに図書館の「ミニ分館」を整備。そして3年後の2010年に海士町中央図書館ができました。「島まるごと図書館」のかたちはそのままつづいています。

島の図書館が まるごと1つに

海士町中央図書館は、すべての「図書館」「図書館分館」の運営をしています。学校図書館の司書は中央図書館のスタッフでもあるので、授業に必要な本があれば中央図書館で準備をすることができます。学校図書館で知った、子どもたちに人気の本などの情報を、中央図書館と共有することもできます。

現在、学校図書館をふくめた「図書館分館」は保育園や子育て支援スペース、学習センター、診療所、宿泊施設、郷土資料館など28ヶ所。島から本土へ渡る唯一の交通手段の船の乗り場にも分館があります。本の冊数や種類は分館によってさまざま。月に1回は中央図書館の係がまわり、本の整理や入れかえをしています。島の人々のくらしのなかに「図書館」があるのです。

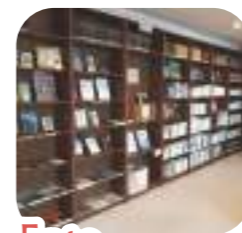


図書館外観

写真提供：海士町中央図書館

隠岐島前 高等学校図書館

建物の3階にあり、海が見える、見晴らしのよい図書館。高校生たちの憩いの場所に。



Ento

宿泊施設Entoのなか。蔵書は1500冊で、学校図書館をのぞく分館のなかで規模は一番大きい。宿泊客のみでなく島民も利用できる。



キンニャモニャセンター

キンニャモニャセンターは港にある複合施設。その2階にあり、船を乗りおりする多くの人が利用。船のまち時間に気軽に読むこともできる。



海士小学校図書館

校舎の一番奥にあり、子どもたちがのんびり静かにすごせる居場所になっている。



けいしょう保育園

子育て支援センターも併設している保育園。絵本や子育ての本を中心に、親子で読書を楽しむような本がおいてある。

海士町 中央図書館



本の返却ポスト



隠岐國学習センター

隠岐島前高校と連携した公立塾。高校生や大人が読む本をおもにおいている。



福井小学校図書館

校舎の昇降口の前に位置した図書館。休み時間の読書、授業の調べものをするときに活用。



海士町島まるごと

図書館 分館MAP

- = 学校図書館
- = 500冊以上の施設
- = 100-500冊の施設
- = 100冊以下の施設
- = 返却ポスト



読書 知っておこう バリアフリーのこと

本を読みにくい人のために読書のお手伝いをするのも、図書館の大事な役わりの一つです。「読書バリアフリー」とよばれるとりくみと、バリアフリー図書調査!



読書バリアフリーとは?

読書バリアフリーとは、読書をすることや、本を手にとって読むことがむずかしい人が感じる読書の「壁」をとりのぞいて、本に書かれていることを受けとれるようにすることです。

2019年に「読書バリアフリー法」という法律ができて、出版社や図書館などがやるべきことが決められました。

読書に「壁」を感じている人のために

視覚に障害のある人

弱視とよばれる、視力の弱い人や、老眼によって字が読みづらくなった人のためには、大きな文字の「大活字本」があります。もっと視力が弱い人には点字の本や、さわって楽しめる本、文字が音声で聞ける本などがあります。

手、肘、肩に障害のある人

ページをめくるのがむずかしい人には、それを助けてくれる機器や、簡単な操作で読み進められる音声機器があります。

知的障害や

母語が日本語ではない人

内容をやさしく、わかりやすく書いた本(LLブック)があります。

ディスレクシアの人

文字の読み書きがむずかしいディスレクシアとよばれる人には、読みづらさをおぎなう道具や、音声で聞ける本があります。

図書館のとりのくみ

図書館には上にあげたような本をそろえたり、機器を貸し出したりする役目があります。図書館まで来ることがむずかしい人には本の郵送や宅配での貸し出しをします。また、本を対面で読み上げるサービスなどをおこなっている図書館もあります。

図書館には、読書バリアフリーに対応した本がまとめておかれているコーナーがあります。右は鹿児島県の志布志市立図書館の「りんごの棚」。「りんごの棚」とは、スウェーデンの図書館からはじまったとりのくみ。子どものための読書バリアフリーのコーナーにつけられた名前です。

写真提供：志布志市立図書館



図書館にある道具や機器

図書館によってちがいますが、さまざまな道具や機器が、本が読みづらい人のために用意されています。

読むことがむずかしいと感じている人のために、いろいろな道具があるんだね。

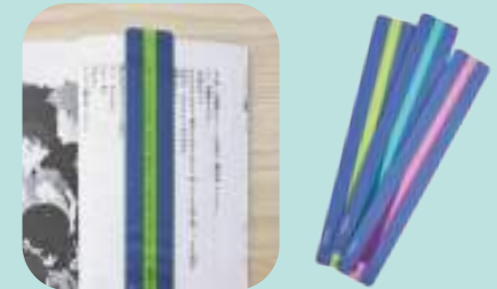


ルーペ



ふつうの文字では小さくて読むことがむずかしい人のために、本の上におき、文字を大きくするルーペ。お年よりのために老眼鏡がおいてある図書館もあります。

リーディングトラッカー



ディスレクシアの人の読書をサポート。読みたい行だけに集中することができます。読みやすい色は人それぞれにちがうので、何色もつくられています。

書見台



本の位置が遠すぎると見えづらい人のためのもの。近くことで、無理な姿勢をとらずに読書ができます。

拡大読書器



本をおくと、印刷された文字をモニター画面に大きく映しだしてくれる機器。倍率や明るさ、背景の色などが調整できるようになっています。

デジター再生機



コンパクトなサイズのもの。

録音図書の形式の1つ、デジター図書(44ページ)を再生する機器。目次や見出しを検索して、読みたいページへ飛ぶことができます。

音声読書機



本などのページに書かれた文字を音声で読み上げる機器。本だけでなく商品のパッケージなど生活のなかでも使うことができます。

発見! 図書館の中・外・となりで あんな場所、こんなもの

ほかの施設と協力しあったり、新しい設備を整えることで、図書館の役わりが広がっています。本を読んだり借りたりするだけではない、その姿を調査。



写真提供: 名古屋市図書館

図書館から
遠い人には、
とっても便利だね。



自動車図書館 が走る

名古屋市図書館 >> 愛知県

図書館が遠くて利用しにくい人たちのために、多くの市区町村で、自動車で本をとどけるとりくみがされています。名古屋市の自動車図書館は100ヶ所以上の場所を1ヶ月半に1度まわり、本の貸し出しや返却をおこなっています。本の貸し出しのほかに、学校や幼稚園で出張読み聞かせをしたり、地域のお祭りに参加したりと、特別な活動をしている車もあります。楽しいイラストが描かれた黄色い自動車は子どもたちに大人気です。



子育て中のお父さんや
お母さんは助かるね。



写真提供: 塩尻市立図書館

子育て支援センター がとなりに

塩尻市立図書館本館(えんぱーく) >> 長野県

子育てについて相談をしたり、情報をもらえる子育て支援センター。かたちや数はちがいますが、それぞれの地域にかならずある施設です。長野県塩尻市にある市民交流センター「えんぱーく」は1階に図書館が入っていて、図書館の児童コーナーのとなりに子育て支援センターがあります。図書館のカウンターと子育て支援センターの受付はとなりあっているの、子どもを連れた親にはとても使いやすく、心強い場所になっています。

ティーンズのスペース で楽しむ

武蔵野市立図書館

(ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス)

>> 東京都

武蔵野プレイスは図書館をはじめとして「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」の機能をあわせもった施設です。地下2階がティーンズスタジオとよばれているフロアになっています。図書館施設としてはアートとティーンズのための本の部屋。まんなかの広いところはスタジオラウンジとなっていて、19歳以下の青少年が自由にすごせるラウンジ形式のスペースです。本を読んだり借りたりせず、ただおしゃべりするだけでも大丈夫。ボードゲームやトランプ、玩具の貸し出しもしています。家庭でもなく、学校でもない「第三の場所」としての役わりも果たしています。



上・アート&ティーンズライブラリー
下・スタジオラウンジ
写真提供: 武蔵野市立図書館

ずーっといても、
いいんだって。



みんなで話しあいながら
勉強するって楽しい!



上・グループ研究室
下・ラーニング commons の
スペース

写真提供: 多摩市立中央図書館



グループ研究室 を使おう

多摩市立中央図書館 >> 東京都

多摩市立中央図書館には「グループ研究室」という、何人かで本を読みあつたり、話しあう学習をするのに便利な部屋があります。2名以上で、ひとりが多摩市に在住・在学・在勤で利用者カードをもっていれば、かざられた時間のなかで利用ができます。館内にはほかに「ラーニング commons」というエリアもあります。人数制限や時間制限がなく、話しあいや飲食など自由な使い方ができる場所で、こちらもたくさんの方が利用しているそうです。